

経営比較分析表（平成28年度決算）

佐賀県 基山町

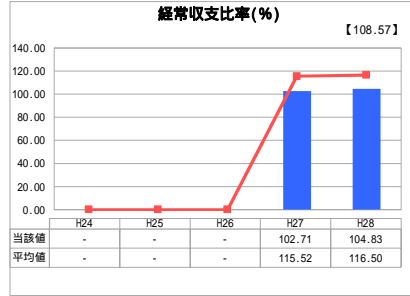
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家庭料金(円)
-	57.87	77.48	89.90	3,180

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,391	22.15	785.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,451	2.66	5,056.77

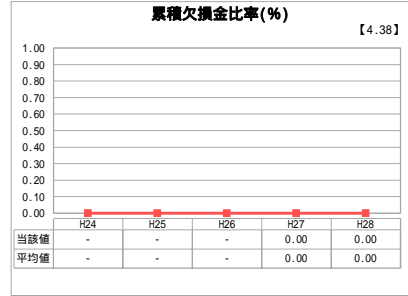
グラフ凡例

■ 当該団体値（当該値）
 - 類似団体平均値（平均値）
 【】 平成28年度全国平均

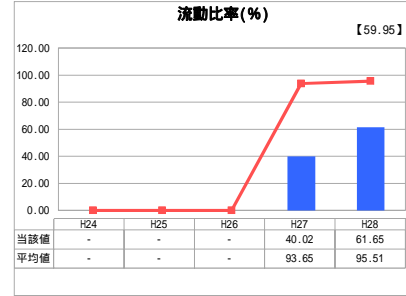
1. 経営の健全性・効率性



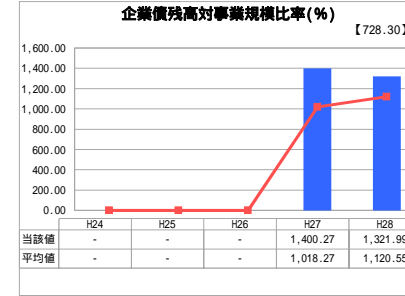
「経常損益」



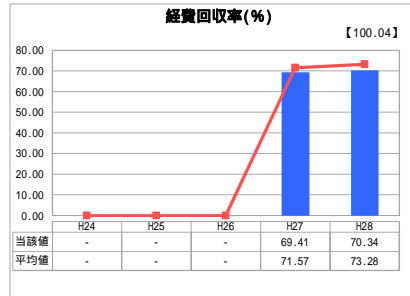
「累積欠損」



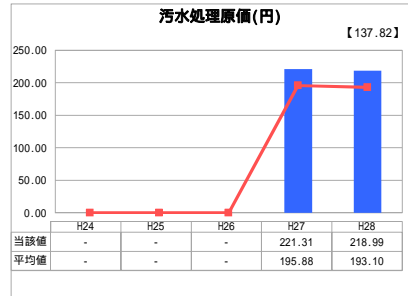
「支払能力」



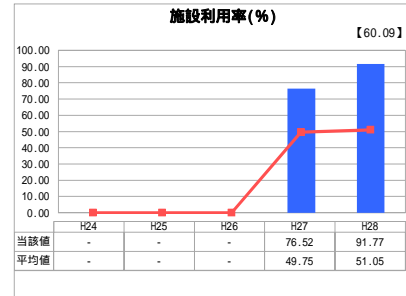
「債務残高」



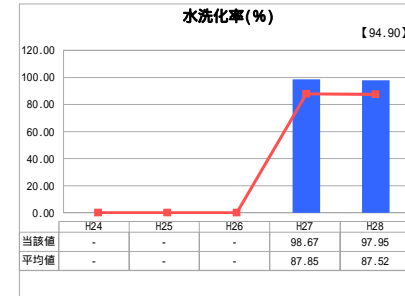
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

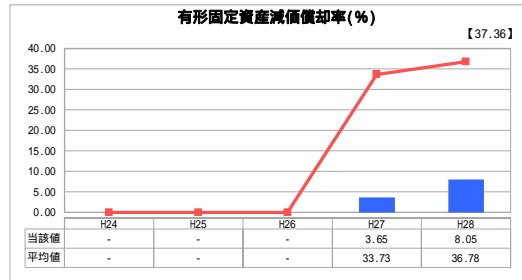


「施設の効率性」

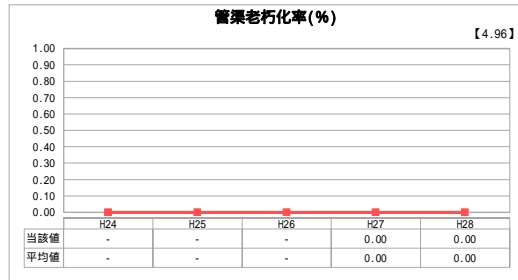


「使用料対象の捕捉」

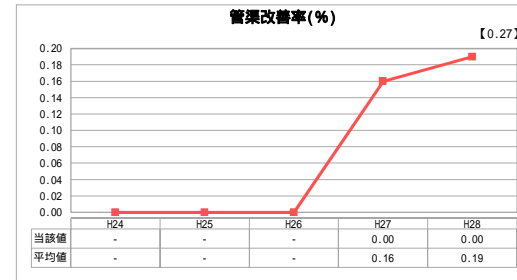
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、100%を超えているものの類似団体平均と比べ低いため、今後更なる効率化の推進など、経常費用の削減を図ります。
 累積欠損金比率は0%となっており、今後も0%を継続できるよう経営努力していきます。
 流動比率は、企業債の償還金を一般会計からの繰入金で賄っているため、100%を下回っています。今後更なる接続率向上を図り、使用料収入の増加を目指します。
 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均と比較すると上回っているが、管渠整備の投資により企業債残高は増加しています。
 経費回収率は、類似団体平均と比較すると下回っているため、今後更なる維持管理費の削減に努め、率の向上を目指します。
 汚水処理原価は、類似団体平均と比較すると上回っているため、今後更なる投資の効率化などにより経営改善を図ります。
 施設利用率は、類似団体平均と比較すると上回っており、施設は適正規模であると言えます。
 水洗化率は、類似団体平均と比較すると上回っており、施設の稼働が収益につながっているとと言えます。

2. 老朽化の状況について

管渠の更生等はありませんが、断続的かつ定期的にT.Vカメラ等を用いた管渠の老朽化点検を行い、結果に応じて更生管等で老朽化対策を実施します。

全体総括

本町の公共下水道事業は、類似団体平均と比較すると、施設利用率など「施設の効率性」に関する経営指標及び「使用料対象の捕捉」に関する経営指標は平均値を上回っている一方で、汚水処理原価が高いことが分かります。
 今後も、厳しい経営環境となりますが、維持管理費用の削減や更新等に充てる財源が確保できるか等を確認し、効率的かつ適正な下水道事業を運営し、更なる町民サービスの向上を目指します。
 また、本町は平成27年から法適用しており、平成26年以前の数値は算出しておりません。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。